

## 槍ヶ岳・北穂高岳縦走

Hi

期 日：2019年7月29日（月）～8月1日（木）

概ね曇り、のち晴れ

コース：【前夜】渋谷22:00～【29日】上高地5:20/6:00→横尾8:52/9:20→槍沢ロッジ11:22/【30日】5:28→大曲6:42/52～播隆窟9:26/37～槍ヶ岳山荘11:23/【31日】5:35→天狗原稜線分岐8:29/34→南岳小屋9:08/26→長谷川ピーク12:17→A 沢の科尔:12:54/00→北穂高小屋15:18/【1日】北穂高岳山頂5:45→涸沢9:25/47→本谷橋11:53/07→横尾13:07/16→上高地16:01/40・・・自宅21:40

参加者：単独

念願であった槍・北穂高縦走をこれ以上延ばせないと計画。天候、体調次第では天狗原経由槍沢に下りることも想定したが予定通り実行。曇りがちの晴れで景色は今一つだったが熱暑にならずに済んだ。マイペースで慎重に歩いた。

【29日】・・・上高地→槍沢ロッジ



渋谷からの夜行バスは乗客僅か7名  
上高地 BS で朝食を済ませ出発



河童橋付近は未だ人が少ない  
山には雲が垂れこめている



横尾からは狭くなった谷川沿いを歩く  
一時小雨が降ったが間もなく止んだ



谷川から少し離れて登ると槍沢ロッジ  
時間制の風呂に入り汗を流す

【30日】・・・ 槍沢ロッジ→槍ヶ岳山荘



槍沢ロッジからは暫く樹林帯を登る



ババ平キャンプ場に出ると視界が開ける  
雪崩で潰された槍沢小屋の跡という



水俣乗越分岐で道は左に大きく曲る



氷河によるモレーンと雪渓が見えて来た



南岳に通ずる天狗原分岐  
明日天候、体調次第ではここに下りてくるかも



コバイケイソウの咲く斜面を登る



高度を上げると登山道は岩道となる



予定より80分早く山荘到着  
今回は縦走目的のため穂先は省略



↑ 山荘前から槍の穂先

← 山荘裏から槍の穂先  
多くの登山者が数珠つなぎ

↓ 南には明日通過する大喰岳



【31日】・・・ 槍ヶ岳山荘→北穂高小屋



30分並んで5時朝食を済ませ出発



ガスのなか大喰岳、中岳を通過



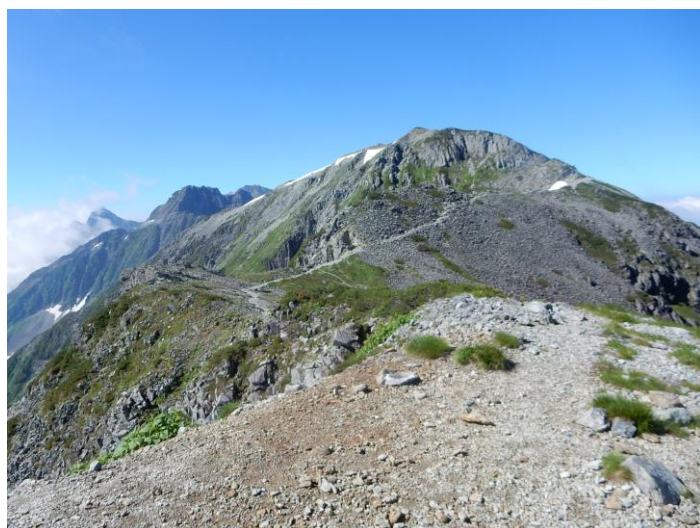
左下に見えてきたのは天狗原の氷河公園か



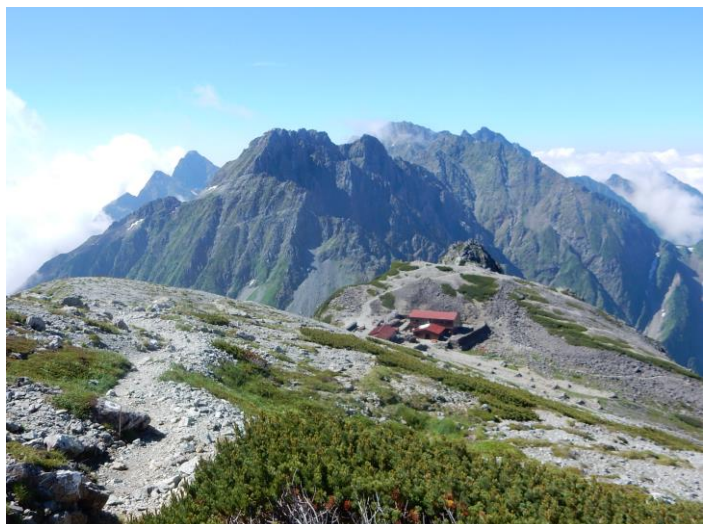
天狗原分岐 予定通り大キレットに向う



振り返ると尖った槍ヶ岳



前方に丸みを帯びた南岳



南岳山頂下に南岳小屋  
その奥に前穂、北穂、奥穂、涸沢岳



小屋前ベンチで早目の軽食  
天気良くなりますと小屋女性



小屋の先から大キレットの下りに入る  
急斜面のガレ場を220m程下る



縦走路が見えて来た



切り立った岩壁を長梯子で下りる  
次の長梯子を下りて縦走路に立つ



振り返ると凄い岩山 ここを下りて来た



縦走路は登り下りを繰り返す



前方に長谷川ピークが見えて来た



長谷川ピークを登る  
最低コルから90mの登り



「Hピーク」表示近くの岩塊を鎖、鉄ピン頼りに乗り越える



Hピークからの難所を慎重に降下  
対向者が登って行く



Hピークから40m下るとA沢のコル  
ここから北穂高小屋まで300mの岩稜を登る

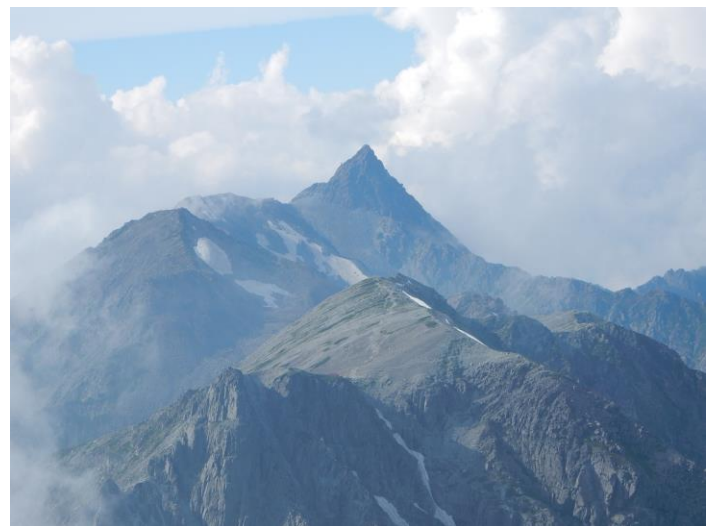


厳しい岩場、鎖場の連続でマークに従い道を外さぬよう慎重に進む  
ガスで周囲は余り見えず、対向者は殆んどなかった



展望台ではガスで何も見えず

やっと北穂高小屋の上部が見えてきた  
あと200mの表示から30分程要した



予定より100分遅れて小屋到着

雲が取れ槍ヶ岳からの縦走路が見えて来た

【1日】 …… 北穂高岳山頂→上高地



朝日を浴びる槍～北穂高の稜線



槍ヶ岳、北穂高岳とも3回目だった



涸沢カール 今年は残雪が少ないようだ



上高地には  
60分遅れて到着